

【別紙3】

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言解除を受けての主な追加対策

■臨時休業中の学校再開へ向けた準備

新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業していた学校の再開へ向けた準備並びに家庭学習支援を行うもの

○家庭学習支援（遠隔授業）環境整備（予算：8,643千円）

学校休業期間中の家庭による子どもたちの Web 健康観察や授業支援（遠隔授業）、授業再開後の夏休みなどの家庭学習支援、新型コロナウイルス第二波への対応のため、Zoom アカウントを 60 アカウント確保する。

また、その際、通信環境がない家庭に対応するため、ポケット Wi-Fi を 200 個確保する。

○スクールタクシーの増便（予算：7,490千円）

学校再開への対応として、より密集するスクールタクシーについて、台数を増便し、座席に空間を設けることで感染を予防し、児童生徒の安全を確保する。

○非接触型体温計の購入（予算：1,430千円）

学校再開の対応として、非接触型体温計を整備し、朝の体温測定ができなかった児童生徒への検温や、授業、行事前の検温について、時間を短縮することで、感染を予防し、児童生徒の安全を確保する（学校規模に応じて1校当たり2～8個を予定。全部で65個）。

■その他の対策

○子ども・子育て支援交付金（国）新型コロナ感染症対策臨時休業特別開所支援事業、人材確保支援事業（予算：15,360千円）

（対象者）

- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により、午前中から開所するクラブに対し助成

（対象クラブ）

- ・13クラブ

（支援内容）

- ・午前中から開所するための経費 1クラブにつき 11,000円
- ・午前中から開所するための人材確保等に要する経費 1クラブにつき 21,000円